

- 「竹原・大崎上島地区」を新しい瀬戸内海の滞在型観光の拠点エリアとして形成するための戦略構築を行い、先行する竹原エリア以外の周辺地域においてもモデル地区を設定して、空き家調査や活用計画検討を行うことで、面としての展開を計画する。
- 竹原に滞在拠点を つくることにより、地元食材の消費や、周辺農家や漁師の体験メニューへの送客を促す
- 古民家を改修し、ホテルやレストランとして運営することで空き家問題の解決とまちなみ保全に取り組む



【採択年度】
平成30年度

【事業実施期間】
平成30～31年度

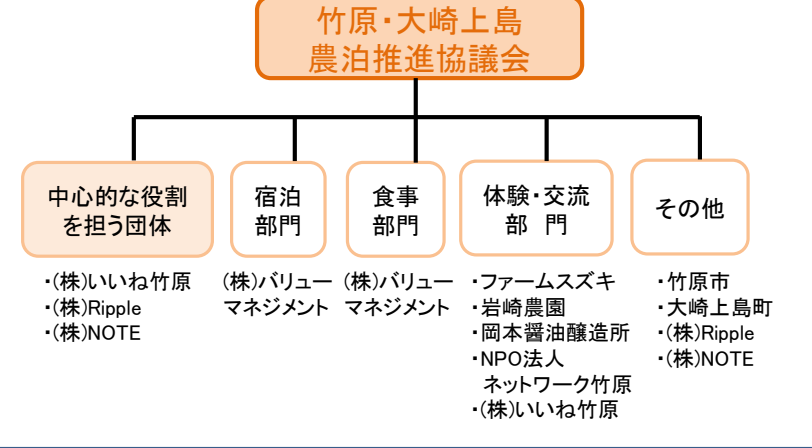


NIPPONIA HOTEL 竹原製塩町L



旧水儀旅館・水儀本店を改修

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 竹原市・大崎上島町が連携するプログラムの造成。
- 当地区の歴史的資産(水儀旅館・水儀本店)を旅館、レストランとして改修し活用する(NIPPONIA HOTEL 竹原製塩町として令和元年8月オープン)。
- 着地型滞在観光の実現のため、人材の雇用および育成(ランドオペレーター観光コンシェルジュ育成)



塩づくり体験



海上移動のクルーザー



醤油づくり学習

【取組内容】

- 地域戦略と広域展開に向けた周辺地域の拠点開発計画の検討
地域戦略の策定(開発コンセプト、マーケティング戦略、開発計画等)。戦略に基づき空き家物件を滞在拠点として改修する(水儀旅館、水儀本店)



- インバウンドを踏まえた体験プログラムの造成と食文化の創造
歴史ある町並みで体験する日本文化体験や、瀬戸内海を感じる海のアクティビティなどを観光コンテンツとして開発するために、既存・新規の体験プログラムを組み合わせた魅力的な体験プログラムの造成や地域の恵みを活用した新しい食のメニュー開発を実施。



- 情報発信
集客に向けて、地域の魅力や施設に関する情報を発信して行くとともに、Webサイトやパンフレットなど施設に関する情報発信ツールの作成を行う。



| インバウンド対応状況 (青：対応) | | | | | |
|-------------------|-------|---------|-------|---------|----------|
| Wi-Fi | 洋式トイレ | キャッシュレス | 外国語HP | 外国語案内表示 | 外国語ネット予約 |
| | | | | | |